



#### 4. 嶋津理事より ME 技術教育委員会の報告

##### ① 第 18 回第 1 種 ME 技術実力検定試験結果報告 (資料 2 4 - 4 - 4 - ①)

1 種は合格率が低いので、何らかのメリット必要では？

⇒1 種取得後 2 年の実務経験で病院勤務者にはステータス

いくつかの学校では学内で報奨金

⇒学会内で合格者を集めるセッションを作っては？

生体医工学会が主催しているので

入会金免除、推薦

合格者をホームページに公開しては？

保険制度の中に組み込んでもらう、内保連、外保連へ働きかけ⇒人数が必要 (現在 3000 人程度)

雇用・昇進のインセンティブ

厚生労働省では各学会が認定した資格を追認

医療機器学会と生体医工学会合同

##### ② 第 34 回第 2 種 ME 技術実力検定試験合格者報告 (資料 2 4 - 4 - 4 - ②)

不正行為で 2 名失格処分

##### ③ 川崎医療福祉大からのクレーム文書について (資料 2 4 - 4 - 4 - ③)

当日に判明した時点で当事者および川崎医療福祉大学の試験監督責任者に状況説明促す

当事者からは翌日に反省文

学部長レベルで解決できず学長代行から文書

⇒理事長および理事名での回答

会場は来年も使用可能

#### 5. 杉町理事より生体医工学サマースクール報告

##### ① 第 9 回生体医工学サマースクール報告・反省点・対策 (資料 2 4 - 4 - 5)

参加人数が 10 名程度にすぎない

若手が教育していたことも原因か？

予算：生体医工学会から 26 万、電気学会・機械学会からは補助なし

⇒共催依頼が遅かった、赤字の時だけ補填

生体医工学会が法人化したので懇親会費用をうまく処理できなかった

本来、寝食を共にすることが重要である

生体医工学会も共催にして独立した委員会が主催にすることも考慮したが従来通り継続する (経費処理を工夫)

② 第 10 回生体医工学サマースクール準備状況

レーザーなどで防衛医科大学校の石原先生に依頼

基本的には受諾してもらっているが、学内で行うことが困難で調整中

ホームページ等で早めの周知

6. 佐久間理事より平成 24 年度選奨各賞選定委員会委員案の件

理事会の承認 資料 2 4 - 4 - 6

7. 木村理事より 2012 年度代議員選挙の件

① 2012 年度代議員選挙報告 (資料 2 4 - 4 - 7 - ①)

② 代議員候補の承認の件

理事会の承認 資料 2 4 - 4 - 7 - ②

6 名の会費未納者には事務局より連絡 (1 名は逝去)

期限までに返事が来ない場合は代議員候補者名簿から削除⇒補欠候補者から順次  
繰り上げ

※会則では 3 年以上未納者は会員資格喪失

※実際には 5 年以上未納者で回答がなかった会員は削除

8. 千田理事長より理事・代議員の定年制について

理事は年齢制限あり

代議員に関して法律上制限を加えることができないので年齢制限なし

9. 木村編集理事より学会誌の現況について報告 (資料 2 4 - 4 - 8)

① 学会誌の状況

生体医工学シンポジウムに当たり生体医工学に 70 編、Advanced Biomedical  
Engineering (ABE)には 46 編

生体医工学について J-STAGE により WEB 審査システム構築予定  
ABE について

② ABE での海外からの編集委員の招聘についての依頼

特にアジア地域

③ ABE での公募制の review paper の新設

④ ABE での動画などの付録ファイルを伴う投稿形式の新設

⇒委員の承認

⑤ 執筆要項等の書式群の取り扱い

⇒編集担当理事に一任

1 0. 吉田理事より第 2 回生体医工学科連絡委員会報告 (資料 2 4 - 4 - 9)

サイエンスキャンプ以外にサイエンスリーダーズキャンプも開始

1 1. 野村広報担当理事より企業ロゴマークについて (資料 2 4 - 4 - 1 0)

**IEEE-EMBC**

⇒WEB 下部のバナーをクリックすると直接企業ページにリンク 機械学会

⇒特別員紹介のページにリンク、会社概要および企業 URL 計測自動学会

⇒賛助会員として企業名が列挙

機械学会タイプということで理事会の承認

協賛企業紹介のページにリンクし、そのページに会社概要および企業 URL 記載

1 2. 篠原理事より日本医学会分科会として利益相反への対応についての件

①医学研究または臨床研究の利益相反 (COI) に関する指針と運用細則策定

②利益相反 (COI) 委員会を設置

③臨床研究 (臨床研究の倫理指針に定義されている) だけを対象

④委員総数および外部委員

⑤役員 (理事長、会長、委員長、理事など) の COI 状態の開示

⑥分科会主催の学術集会、講演会、市民公開講座

以下意見等

COI の本来の意味を鑑みると、上記すべてへの対応は必ずしも必要ではないが、今後、学会作成のガイドラインについて誤解を持たれないように緩やかに対応していくことにする/COI はもともとアメリカの教授で会社役員としての報酬が高いものを対象にしていたので、日本で最先端研究を行っているグループが足を取られてはいけなないので委員会は不要では?/個人情報すべて出すことは不要/WEBに出す必要はなく、開示請求があった時だけで良いので、COI はあってよいのでは?/守るためだけに念のため存在させる必要はない/学長・学部長が対応すればよいのではないか/本来 COI は臨床研究で問題になったのであって、日本医学会分科会では基礎研究については各学会で審議  
投稿論文に関しては COI をはっきりさせることは賛成/「COI はありません」とプレゼンしている場合には、かえって COI 開示の信用がなくなる、マスコミから悪意の突込みが来る/国の補助金が無視されている/なぜ学会自体の COI が必要か

⇒学会から給料もらっているわけではないので不要では?

⇒学会でガイドラインを作成することがあるので、理事が関連会社から報酬を得ていた場合独立性が問題になる

クレーマー、マスコミへの対策としても準備必要なのでは?⇒6割が準備している

⑦日本医学会分科会発行の学術雑誌

⇒著者については COI 申告必要

1 3. 杉町理事より IEEE-EMBS2013、第 52 回大会準備状況報告

現在企画セッション受付中

Global なセッションを考えていたが、医学中心のものは専門別委員会でのセッション作成

一般演題：12月15日から募集開始、投稿の手引き（日本語版）を日本語ホームページに掲載

英文校正について業者名等ホームページ掲載

Late breaking poster（1 ページ）についても公募⇒生体医工学会で英文校正考慮

昨年の Author に続編を出してもらおうような案内

1 4. 千田理事より第 53 回大会・大会長候補者について

佐藤副理事長より東北大学医工学研究科長の松木英敏教授の推薦

理事会としての承認

1 5. 千田理事長より第 54 回大会・大会長候補者について

会場準備の観点から早めに決定

東西のバランスからは中部地区がよいのでは？（大阪→東京→福岡→大阪→仙台）

佐藤副理事長より名古屋工業大学の松本健郎教授の推薦⇒打診して次回理事会で決定

1 6. 千田理事長より持ち回り審議についての件

①EMBC2013MOU について（資料 2 4 - 4 - 1 5 - ①）

理事会の承認

イベント保険はあるが学会の保険は日本にはない

②診療行為に関連した死亡の調査分析事業に関する負担金の拠出について

（資料 2 4 - 4 - 1 5 - ②）

理事会の承認

現時点では法律上の問題から生体に使用する機械を死体に用いることができないので、AI は生体の延長線として施行する必要がある

法医学的には死体として取扱い

法医学の Dr が CT を撮影している例も多い

1 7. その他

千田理事長より協賛等の状況につき報告

資料回覧（資料 2 4 - 4 - 1 6）